ハイブリッド式加湿器保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、商品をお買い上げの販売店（修理申出先）やメーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。
お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

形名	HLF-500形	※ お 買 い 上 げ 日	保 証 期 間
		平成 年 月 日	本 体 ： 1 年
※お客様	ご 住 所 ご 芳 名	〒 -	様
※販売店	住 所 店 名	〒 -	TEL

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、ご相談窓口（☞20ページ）にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口（☞20ページ）にお問合わせください。
●保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」（☞19ページ）をご覧ください。
● This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

取扱説明書

日立リビングサプライ

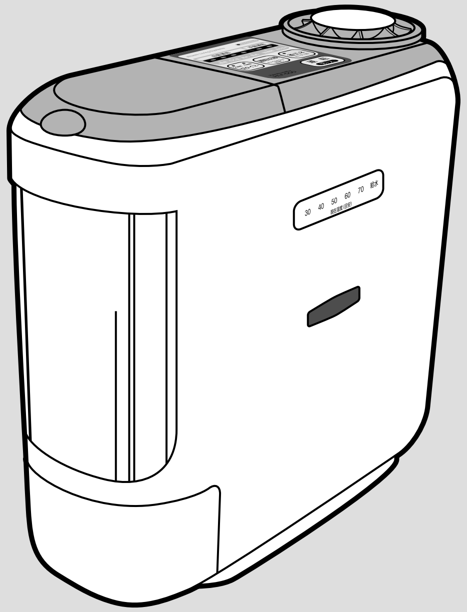
保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

家庭用

ハイブリッド式加湿器

HLF-500形

このたびはハイブリッド式加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。



Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

●このハイブリッド式加湿器は一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因となります。
●地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

目 次

■安全のため必ずお守りください……1
■置き場所について……5
■知っておいていただきたいこと……6
■各部のなまえ……7
■ご使用前の準備……10
■使いかた……11
「自動」運転……11
「手動」運転……11
運転する……11
運転を止める……11
運転を切換える……12
省エネ（ヒーター切）モード……12
切タイマー運転……13
チャイルドロック……13
タンクの水がなくなると……13
■お手入れのしかた……14
タンクのお手入れ……14
本体のお手入れ……14
吸気フィルターのお手入れ……14
吸気フィルターの交換……14
加湿水トレイのお手入れ……15
加湿フィルターのお手入れ……16
■加湿フィルターの交換について……17
■転倒OFFスイッチについて……17
■保 管……17
■故障かな？と思ったら……18
■保証とアフターサービス……19
■仕 様……19
■ご相談窓口……20
■保証書……裏表紙

安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が描かれています。

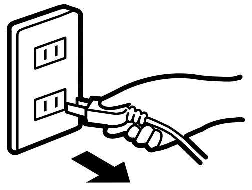
この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

⚠ 警　告

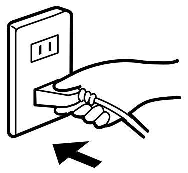
異常なときは、運転を止め差込プラグを抜く

●火災・感電の原因となります。
お買上げの販売店または、「ご相談窓口」（☞20ページ）にご相談ください。



差込プラグは、コンセントの奥まで確実にさし込む

●感電やショートして、発煙や発火することがあります。

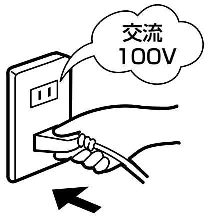


定格15A以上のコンセントを使用する

●他の器具と併用すると、コンセント部が異常発熱して、発火することがあります。

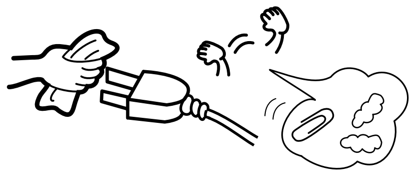
交流100Vを使用する

●火災・感電の原因となります。



差込プラグのほこりやごみを定期的に取る

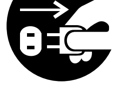
●湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

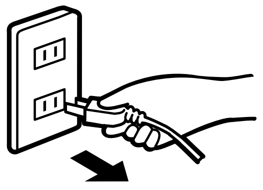


排水は差込プラグを抜いてから行う

排水やお手入れは、運転停止後、必ず差込プラグを抜いてから行う。

●感電をすることがあります。

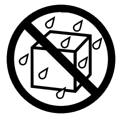

差込
プラグを抜く



⚠ 警　告

お茶や水などをこぼさない

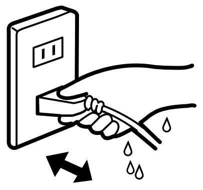
●万一こぼれたときは、過熱・感電のおそれがありますので、ただちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。


水ぬれ禁止

ぬれた手で差込プラグを抜きさししない

●感電やけがをすることがあります。

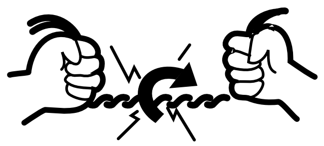
ぬれ手禁止



コードを乱暴に扱わない

コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。また、重い物を挟み込んだりしない。

●コードが破損し、火災・感電の原因となります。



分解や修理をしない

改造しない。また、修理技術者以外の人は、分解や修理をしない。

●火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」（☞20ページ）にご相談ください。

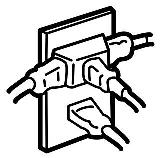
分解禁止

コードをたばねて通電しない

●コードが過熱し、火災・感電の原因となります。

タコ足配線をしない

●電気容量が超え、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



異物を入れない

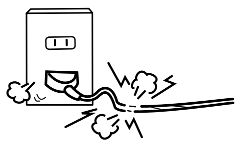
吸気口・吹出口の穴やすき間にピンや針金などを入れない。

●感電や異常動作してけがをすることがあります。

コードが傷んだときは使用しない

コードや差込プラグが変形・変色・損傷している、コードの一部や差込プラグがいつもより熱い、コードを動かすと通電したり、しなかったりする、また、コンセントの差込口がゆるいときは使用しない。

●感電・ショート・発火の原因となります。



安全のため必ずお守りください（つづき）

⚠ 警告

お手入れに塩素系・酸素系の洗剤を使用しない

●有毒ガスが発生する原因となります。

タンクに水道水（常温）以外の物を入れない

ガソリン、灯油、化学薬品、芳香剤、また40℃以上のお湯や汚れた水などは入れない。

●火災や故障の原因となります。

本体を水につけたり、かけたり、直接水を入れない

本体の水を捨てるときは差込プラグを抜き、水タンクを取り出し、加湿水トレーを引き抜き排水する。

●感電・ショートの原因となります。

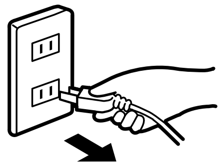
乳幼児や自分で操作できない方などが使用されるときは、特に注意する

●やけどの原因となります。

⚠ 注意

必ず差込プラグを持って抜く

●感電やショートして発火することがあります。



ハンドルをしっかり持つ

ぬれた手でハンドルを持つときは、すべりやすいので注意する。

●落下すると、けがや水漏れの原因となります。

移動時は、水平に持ち運ぶ

タンクに水が入っているときは、本体を振ったり、傾けたりしない。

●傾けすぎると、水がこぼれる場合があります。

タンクの水は毎日新しい水と入れ替える

本体内部は常に清潔に保つよう定期的に掃除する。

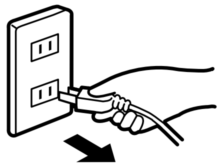
●掃除せずにお使いになると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因となります。

まれに体質によっては過敏に反応し、健康によくないことがあります。
※この場合は医師に相談してください。

使用しないときは、差込プラグを抜く

●けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

差込
プラグを抜く

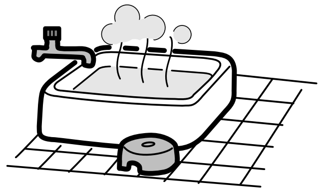


⚠ 注意

浴室や屋外で使用しない

●感電やショート・発火の原因となります。

水場使用禁止



衣類などを掛けない

吸気口・吹出口をふさがない。

●過熱や火災の原因となります。

不安定な場所に置かない

転倒すると水がこぼれます。

●感電・ショートの原因となります。

落下したタンク・本体は使用しない

●そのまま使用すると、水もれやショート・感電・発火の原因になります。

本体に直接水を入れない

本体に直接水を入れない。

●絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

電気製品の上に置かない

●転倒すると、感電やショートの原因となります。また、本体底面の熱により、変色・変形の原因となります。

燃えやすい物の近くで使用しない

カーテンの近くや、机の下など周囲を囲まれた場所で使用しない。

●火災のおそれがあります。

ペットのいる部屋では使用しない

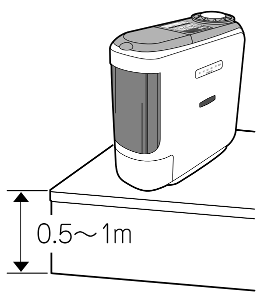
●ペットが本体やコードを傷めることがあり、火災・感電・故障の原因となります。

置き場所について

正しい置き場所

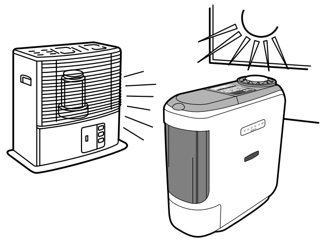
●約0.5〜1mの高さのテーブルの上などの水平で振動のないところに置いてお使いください。
また、吹出口から天井までの距離を1m以上、周囲の壁などまでの距離を10cm以上とってください。
満水時には重くなりますので、しっかりしたテーブルの上に置いてください。

●本体下の床面を定期的（3日に1回位）に清掃してください。
（カビ発生の原因）

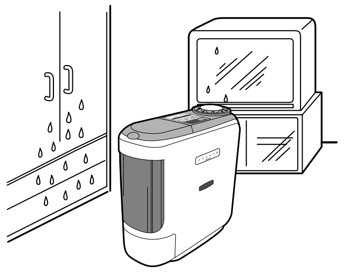


次の場所には置かない

●暖房器具などの近くで、高温になるところ。
輻射熱や温風を直接受けるところ。
直射日光のあたるところ。
油のつきやすいところ。
（プラスチック部品が変形、変質の原因
湿度センサーが正しく働かなくなる恐れ）



●加湿器の吹出した風が直接家具、楽器類、テレビなどの電気器具、壁、天井などにあたったり、周りに障害物があるところ。
（家具などにしみや変形ができたり、故障の原因）



●暖房器や電化製品及び不安定な台の上。
（暖房器の熱で変形したり、故障の原因／センサーが正しく働かなくなる恐れ
転倒し発火・感電・ショート・ケガの原因）

●畳やじゅうたんの上。
（湿気により畳やじゅうたんにカビが発生する原因）

●テレビ・ラジオ・電話などの近く。
（テレビ・ラジオ・電話などに雑音が入る原因）
1m以上離し、同じコンセントを使用しない。

●磁石や強い磁気のものの近く、磁石のつく鉄板の上。
（誤動作する原因）

知っておいていただきたいこと

ハイブリッド加湿器について

この商品は、加湿フィルターに風を当て加湿を行う「気化式」と、風をヒーターで加熱し、温風にして気化を補助する「加熱式」を組み合わせたハイブリッド式です。

●気化式による加湿方式のため、部屋の湿度が高いほど、また温度が低いほど加湿量が少なくなります。
また、加湿中でも蒸気や霧は見えませんが、水タンクの水位が減っていれば、加湿しています。

●湿度センサーはファンで部屋の空気を吸い込むことにより、湿度を検知します。

●湿度センサーは暖房気流があたったり、直射日光で暖められたりすると、室内の湿度と異なるコントロールをします。なお、同じ部屋でも場所や高さにより湿度が異なり、他の湿度計と差が出ることもあります。
現在湿度の表示は目安としてお使いください。

●設定された湿度を保つため、現在湿度の表示が設定された湿度になっても加湿を続けているときがあります。

●暖房中の快適な湿度は50%前後といわれていますが、結露や異常乾燥による悪影響を防止するために次のような点を目安にしてください。
○湿度が高すぎるとき
①比較的寒い北側の押入れなどに露がついたり、湿っぽい感じがする。
②窓や壁に露がたくさんつき、流れ出している。
気密性の良い部屋などでは50%前後の湿度でも温度の低い窓などに結露する場合があります。
○湿度が低いとき
①くちびるやのどが乾き、皮膚がかさかさする。
②家具などのすき間が大きくなり、建具がそる。

●本体を持ち運ぶときに「カラカラ」と転倒スイッチの音がすることがありますが異常ではありません。

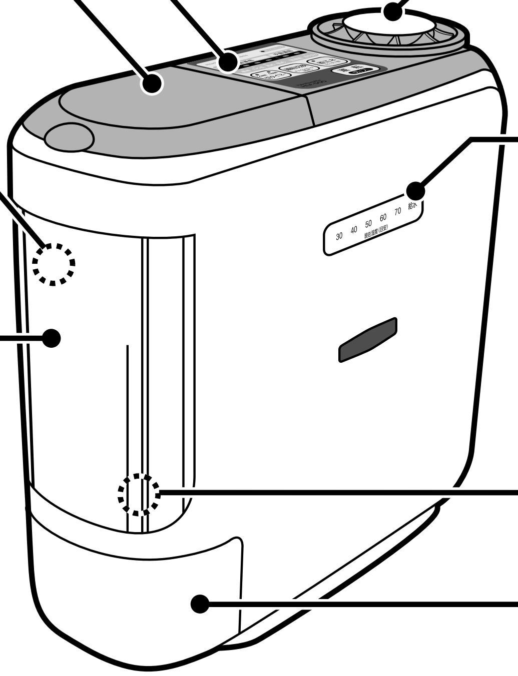
お願い！

●湿度が高いときには、家具や床を湿らしたり、ぬらすことがありますので運転しないでください。

●お子様やお年寄りには注意してください。
お子様やお年寄り、ご自分で操作ができない方など、加湿のしすぎや、本体の取り扱いなどについて注意してあげてください。

●暖房を止めた部屋で使用すると、壁、天井に水滴がつくことがあります。おやすみのときなどは、特に注意してください。

各部のなまえ



操作部
（☞9ページ）

タンクふた

水タンク
内部にあります。

水位窓

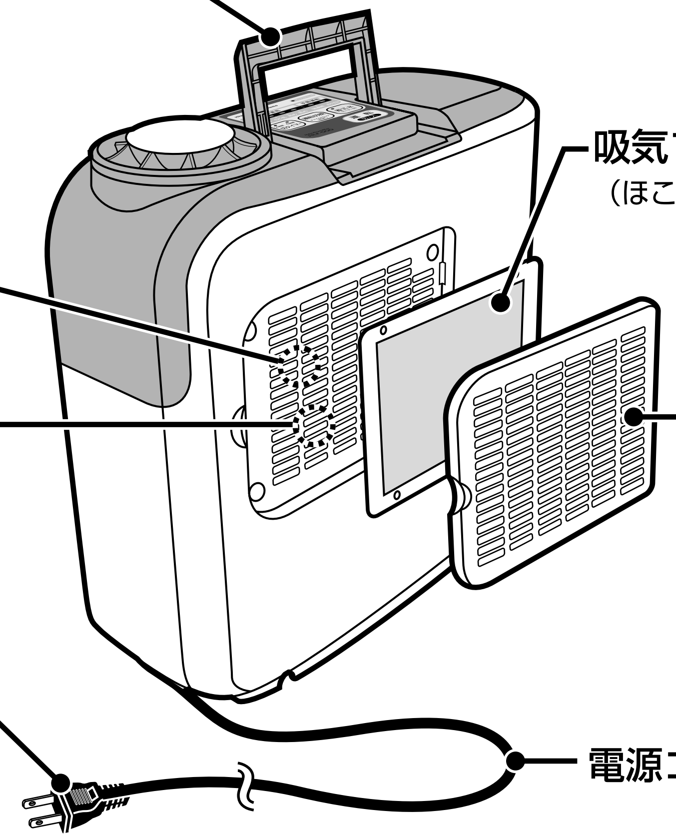
吹出口
加湿中でも蒸気や霧はみえません。

現在湿度（目安）・給水ランプ
（☞9ページ）　（☞13ページ）

水量お知らせランプ
内部にあります。

加湿水トレイ
加湿水トレイは水タンクを取り出さないと引き出せません。

本体背面



ハンドル

湿度センサー
内部にあります。

ファン
内部にあります。

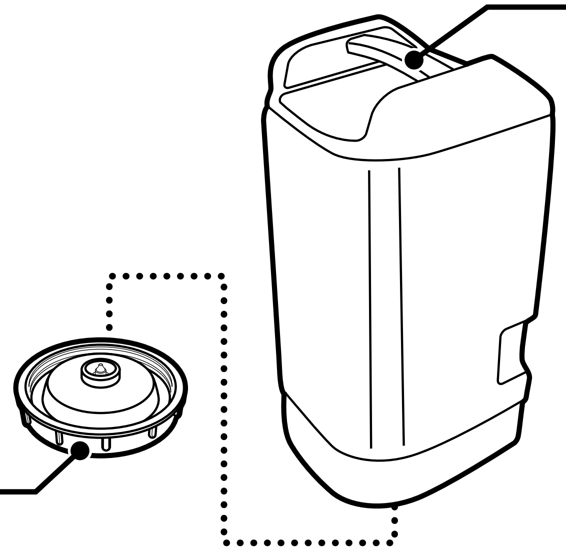
差込プラグ

吸気フィルター（消耗部品）
（ほこりの除去）

フィルターカバー

電源コード

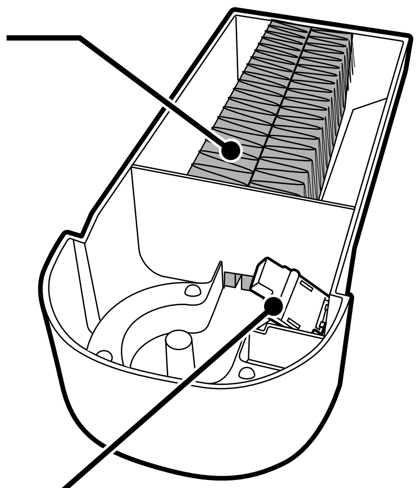
水タンク



水タンクハンドル

キャップ

加湿水トレイ内部

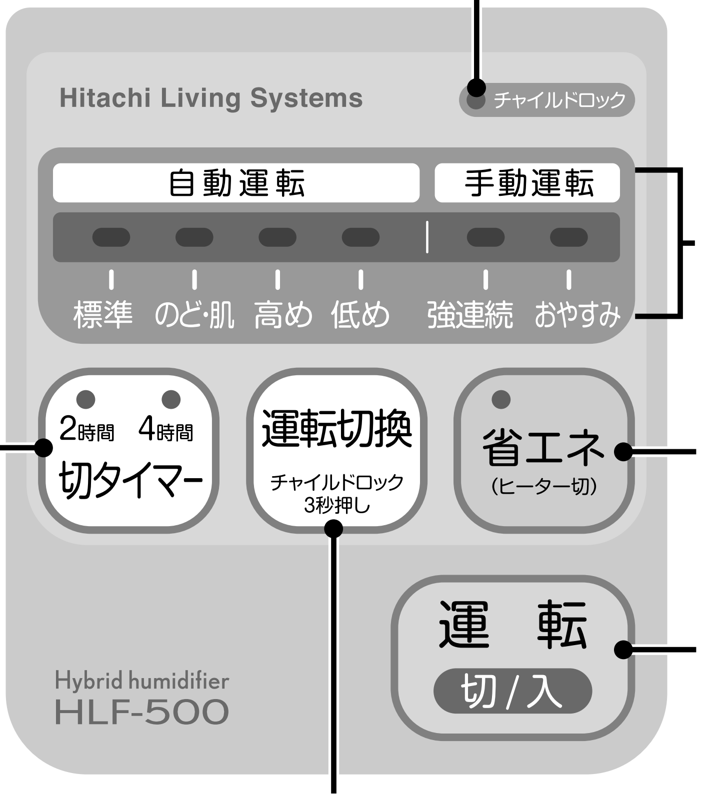


加湿フィルター（消耗部品）

フロート（水検知センサー）
固定したり、取りはずしたりしないでください。

各部のなまえ（つづき）

操作部（本体上面）



チャイルドロックランプ
(☞13ページ)
・チャイルドロックの「切」「入」の状態をお知らせします。

運転ランプ
(☞12ページ)
・運転状態をお知らせします。

切タイマーボタン
(☞13ページ)
・運転時間を設定します。

2時間タイマー → 4時間タイマー → 解除 → 2時間タイマー

省エネモードボタン
(☞12ページ)
・ヒーターを切って運転します。
・「水量お知らせランプ」を消灯します。

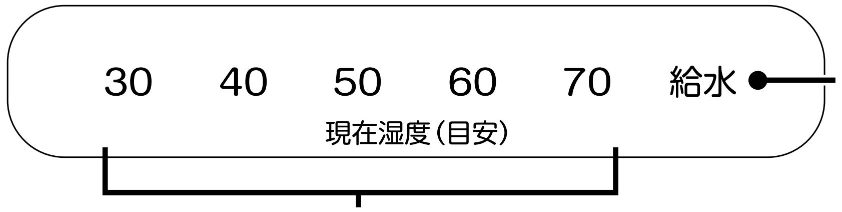
運転ボタン
(☞11ページ)
・運転の「切」「入」を行います。

運転切換ボタン（☞12ページ）

自動運転：標準 → のど·肌 → 高め → 低め → 手動運転：強連続 → おやすみ → 標準

・チャイルドロックの「切」「入」を行います。（3秒間長押し）

現在湿度（目安）・給水ランプ（本体側面）



給水ランプ
（☞7、13ページ）
・タンクの水がなくなったことをお知らせします。

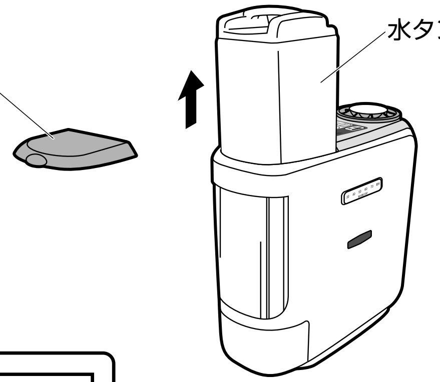
現在湿度（目安）ランプ
（☞7ページ）
・現在の湿度をお知らせします。

表示	30	40	50	60	70
湿度の目安(%)	35以下	36～45	46～55	56～65	66～90

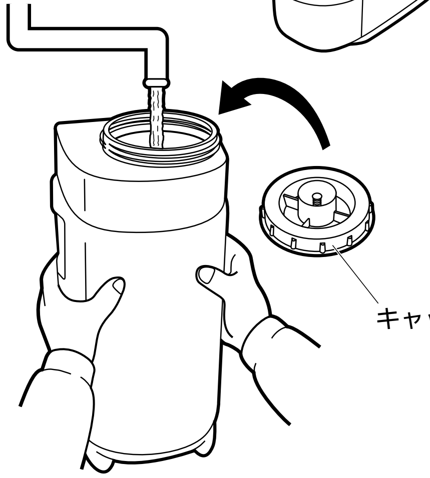
湿度表示は目安としてお使いください。

ご使用前の準備

1 本体を固定している輸送用テープをはずす。



2 **水タンクへの給水**
①タンクふたをはずし、水タンクを取り出す。
②水タンクにきれいな水道水（常温）を入れる。
③キャップをしっかりしめて本体にセットし、タンクふたをしめる。



- キャップを確実に締め、こぼれた水をふきとり、水漏れがないことを確認してください。
- 水が入った水タンクをセットするときは静かにセットしてください。本体が破損し水漏れの原因になります。
- タンクには約3.8リットルの水が入ります。

⚠ 注意

タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、常に清潔にしてお使いください。
- そのまま使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。

3 **差込プラグをコンセントに差し込む（交流100Vのコンセントを使用）**

⚠ 警告

差込プラグは根元まで確実に差し込む
- 差し込みが不完全だったり、いたんだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。**感電や発熱による火災の原因になります。**

お願い！
- 2シーズン目以降、初めてお使いになるときは、必ず『お手入れのしかた』（☞14～16ページ）にしたがってお手入れをしてから使用してください。

使いかた

ハイブリッド加湿器について

この商品は、気化フィルターに風を当て加湿を行う「気化式」と、風をヒーターで加熱し、温風にして気化を補助する「加熱式」を組み合わせたハイブリッド式です。

「自動」運転

各々の運転モードで設定された湿度となるように、ヒーターとファンを自動的にコントロールして加湿量を調節しながら運転します。湿度が高いときはファンが止まります。

「手動」運転

「強連続」…ファンを強回転し、ヒーターをONにして、湿度に関係なく、強加湿量で連続運転します。
「おやすみ」…ファンを弱回転し、ヒーターをONにして、湿度に関係なく、弱加湿量で連続運転します。
静かに加湿したいときなどに使います。

- 「強連続」運転、「おやすみ」運転は湿度のコントロールをしないで運転します。湿度の上がりすぎに注意して下さい。
  また、現在湿度が約90%を越えると、加湿を一時停止します。

運転する

運転 切/入 を押す。

- 自動運転「標準」ランプと「水量お知らせ」ランプが点灯し、自動運転・「標準」で運転を開始します。
- 同時に本体正面の「現在湿度（目安）」ランプがイルミネーション点滅を行ったのち、現在の目安湿度を点灯してお知らせします。

運転を止める

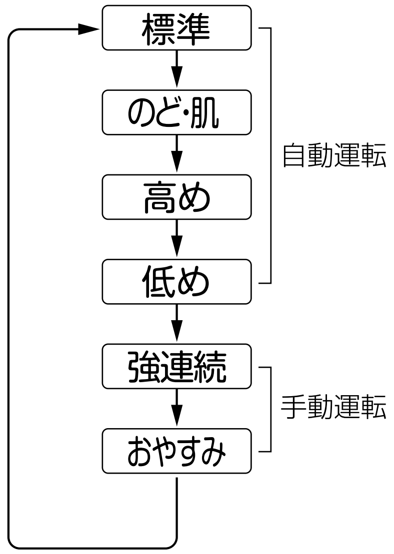
運転 切/入 を押す。

- 操作部、現在湿度（目安）、「水量お知らせ」ランプのすべてが消えて運転を停止します。
- 本体冷却のため運転停止後、約30秒間は送風します。

運転を切換える

運転切換（チャイルドロック 3秒押し）を押す。

押すごとに



となり、操作部の運転ランプが点灯します。

標準（自動運転）
湿度約50%を保つように運転します。
「標準」ランプが点灯します。
現在湿度が約55%を越えると加湿を一時停止します。

のど･肌（自動運転）
湿度約65%を保つように運転します。
現在湿度が約70%を越えると、加湿を一時停止します。

高め（自動運転）
湿度約60%を保つように運転します。
「高め」ランプが点灯します。
現在湿度が約65%を越えると、加湿を一時停止します。

低め（自動運転）
湿度約40%を保つように運転します。
現在湿度が約45%を越えると、加湿を一時停止します。

強連続（手動運転）
湿度に関係なく強風で連続運転します。
現在湿度が約90%を越えると、加湿を一時停止します。

おやすみ（手動運転）
湿度に関係なく弱風で運転します。
また、「水量お知らせ」ランプは消灯します。
現在湿度が約90%を越えると、加湿を一時停止します。

- 差込プラグを抜くと、運転切換などの設定は、すべて初期設定に戻ります。

※湿度表示は本体内部の湿度センサーが検知した湿度

省エネ（ヒーター切）モード

省エネ（ヒーター切）を押す。

- 「省エネ」ランプが点灯し、ヒーターを切って運転します。
- 「水量お知らせ」ランプが消灯します。
- もう一度押すと「省エネ」ランプが消灯し省エネモードを解除します。

お知らせ

省エネモード
省エネボタンを押すことにより、自動および手動のすべての運転でヒーターを切って運転することができます。
ヒーターを使わないので、低消費電力での運転となりますが、１時間あたりの加湿量は下がります。

手動強連続運転時

	定格消費電力（W）		1時間あたり加湿量（ml/h）	
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
省エネモード「切」時（ヒーターON時）	320	320	500	485
省エネモード「入」時（ヒーターOFF時）	26	23	240	230

使いかた（つづき）

切タイマー運転

2時間後または4時間後に運転を停止します。

1 運転中に

［2時間 4時間 切タイマー］**を押す。**

- 切タイマーランプの2時間または4時間が点灯します。
- 設定した時間後に運転を停止し、ランプもすべて消灯します。
- 切タイマー運転中にタンクの水がなくなると給水ランプが点滅します。

［2時間 4時間 切タイマー］を押すごとに（→ 2時間 → 4時間 → 解除）の順に切タイマー時間の設定が変わります。

お知らせ

切タイマー運転を4時間に設定した場合、2時間経過すると4時間のランプが消灯し、2時間のランプが点灯します。運転が停止するとランプは消灯します。

2 解除するときは

［2時間 4時間 切タイマー］**を1～2回押す。**

- 切タイマーランプが消灯します。

チャイルドロック

お子さまのいたずらや誤操作を防ぎます。

1 ［運転切換 チャイルドロック 3秒押し］**を約3秒間押す。**

- チャイルドロックランプが点灯します。
- チャイルドロックになるとすべての操作ができません。

2 解除するときは、再度

［運転切換 チャイルドロック 3秒押し］**を約3秒間押す。**

- チャイルドロックランプが消灯します。

お知らせ チャイルドロック中に停電や電源コンセントを抜いたとき、チャイルドロックは解除されます。

タンクの水がなくなると

タンクの水がなくなると、「水量お知らせ」ランプが消灯し、自動的に運転も停止（ファンのみ約30秒間運転します）し、本体正面の給水ランプ（☞7、9ページ）が点滅します。

⇩

タンクに水道水を給水してください。

> ⚠ 警告
>
> **タンクに水道水（常温）以外の物を入れない**
>
> ●ガソリン、灯油、化学薬品、芳香剤、また40℃以上のお湯や汚れた水などは入れないでください。
> **火災や故障の原因になります。**

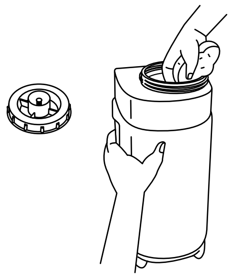
お手入れのしかた

お手入れは定期的に行ってください。汚れがひどくなると加湿量の低下や故障・悪臭の原因になります。

> ⚠ 警告
>
> **お手入れのときは必ず運転を止め差込プラグを抜く**
> **本体内部が冷えるのを待ってから（約10分位）お手入れを行う**
> **タンク、本体のお手入れには塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない**

タンクのお手入れ（毎日）

少量の水を入れ、スポンジなどで洗い、常に清潔にしてください。
給水は必ず水道水（常温）を使用してください。



本体のお手入れ（汚れたら）

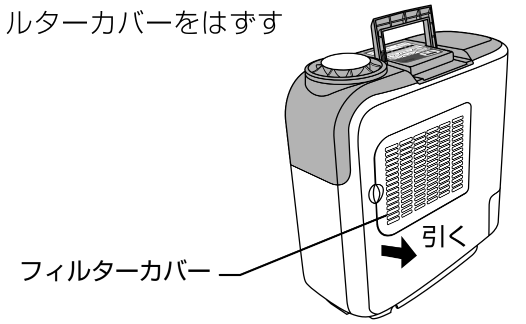
- 水に浸した柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、固くしぼってから汚れを拭きとった後、水ぶきをしてください。

お願い！

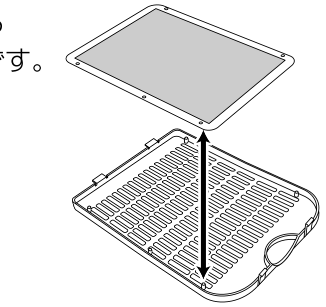
- 変形、変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルカリ洗剤、クレンザーなどは使用しないでください。
  また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きにしたがってください。

吸気フィルターのお手入れ（1週間に1～2回）

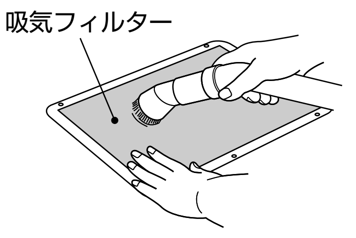
1 フィルターカバーをはずす



2 フィルターカバーから吸気フィルターをはずす。



3 掃除機でほこりを取り除く。
吸気フィルターを吸い込まないように注意してください。
※使い続けるうちに変色することがありますが、使用上の不具合はありません。
※水洗いはしないでください。縮んだり、やぶけたりする場合があります。



4 フィルターカバーの突起部に吸気フィルターの穴をあわせてセットし、本体に取り付ける

お願い！

- 吸気フィルターの汚れがひどくなると加湿量が少なくなったり、正しく湿度表示ができなくなります。
  1週間に1～2回は必ずお手入れをしてください。
- 吸気フィルターをはずしたまま使用しないでください。故障の原因になります。

吸気フィルターの交換

やぶれたり、汚れなどが取れなくなったときは、お買い上げの販売店で「HLF-500の吸気フィルター」とご指定の上、お買い求めください。希望小売価格：525円（税込）（希望小売価格は2007年11月現在のものです。）

お手入れのしかた（つづき）

加湿水トレイのお手入れ（2週間に1回程度）

1 差込プラグを抜く

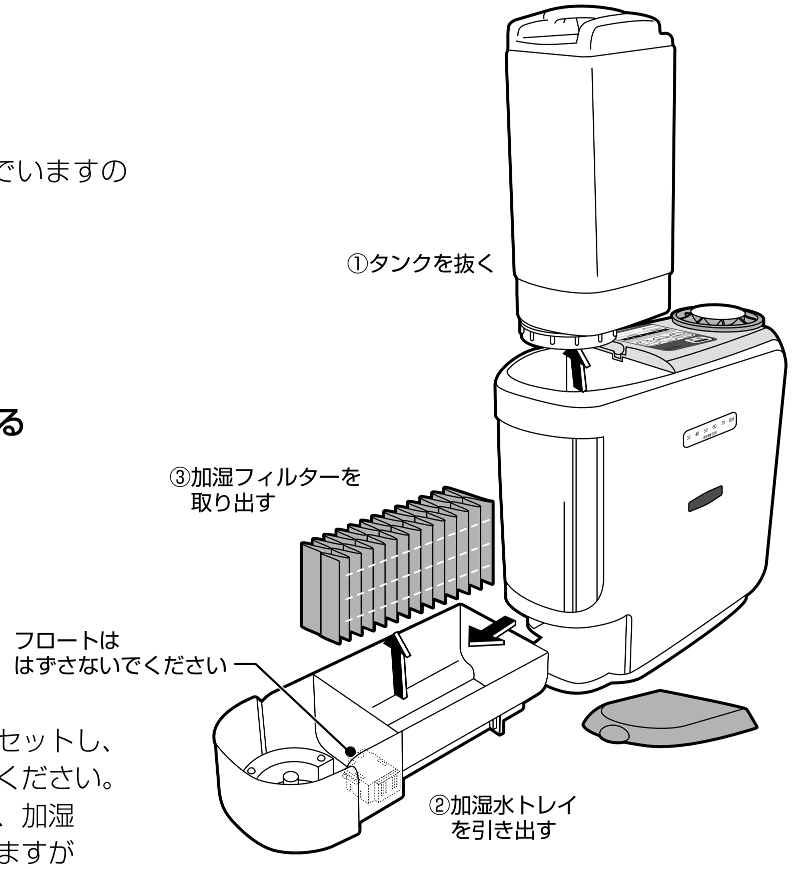
2 加湿フィルターを取り出す
※加湿フィルターは多量の水分を含んでいますのでご注意ください。

3 加湿フィルターをお手入れする
☞ P16

4 加湿水トレイに残った水を排水する

5 加湿水トレイをお手入れする
水に浸した柔らかい布で水あか等の汚れを取り除いてください。

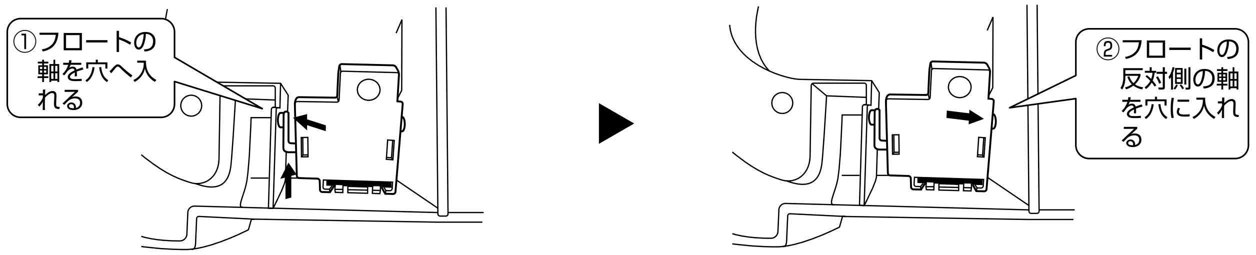
6 部品を元どおりセットする
お手入れが終わったら部品を元どおりにセットし、差込プラグを根元まで確実に差し込んでください。
※加湿水トレイを本体にセットするとき、加湿フィルターが少しこすれることがありますが問題ありません。



お願い！

- フロートははずさないでください

フロートがはずれたとき



お知らせ

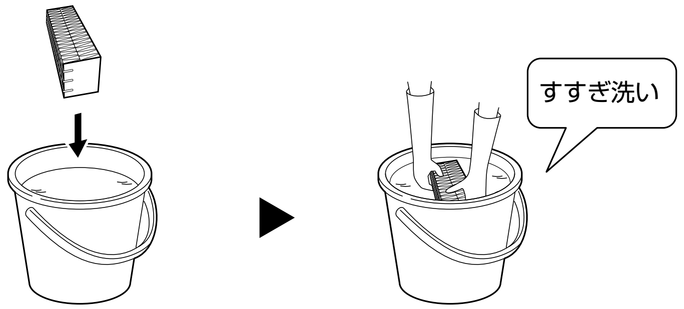
- 使い続けるうちに加湿フィルターが変色しますが、これは水道水中の不純物（鉄・カルシウム・マグネシウム等）や空気中のほこり等によるものですので、使用上の不具合はありません。
- 加湿フィルターの汚れ具合は、水質等の違いや地域によって異なります。また、使用頻度によっても異なります。
- 加湿フィルターにほこりが多く付着すると、カビが発生しやすくなります。こまめに洗浄し、汚れがひどい場合は別売品の交換用加湿フィルターと交換してください。

加湿フィルターのお手入れ

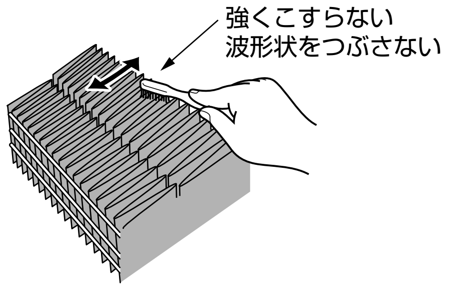
通常のお手入れ

加湿フィルターを水洗いしてください。

① 加湿フィルターを容器の中ですすぎ洗いしてください。



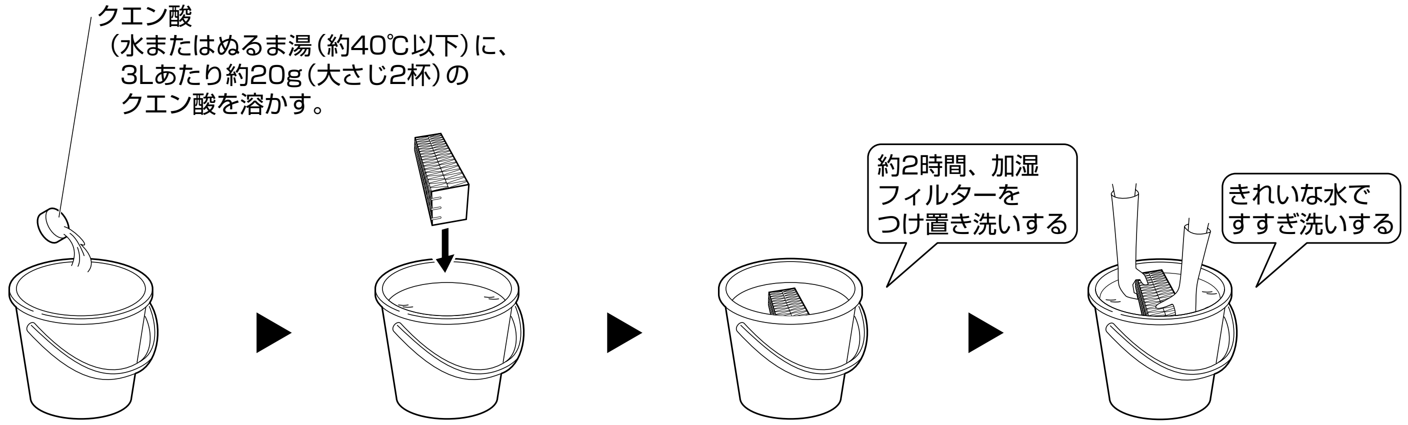
② 加湿フィルターの表面についた水あかを歯ブラシ等で**軽く**こすり落としてください。



③ ①→②の手順を3～4回くり返してください。
④ 最後に再び水ですすいでください。

汚れがひどい場合のお手入れ

クエン酸で、つけ置き洗いしてください。



- すすぎが不十分な場合、においの発生・本体の変形・変色の原因になります。
- クエン酸は食品添加物で無害ですが、幼児の手の届かない所で保管してください。
- クエン酸は薬局・薬店でお買い求めになれます。

お知らせ

- **加湿フィルターの表面には、ご使用とともに白色や赤茶色の固まりが付着しますが、水道水に含まれる不純物（カルシウムなど）のためで異常ではありません。**
  汚れが加湿フィルター全面に付着したときは、加湿フィルターを交換してください。

加湿フィルターの交換について

加湿フィルターの交換

- 交換時期のめやすは、1シーズン：約6カ月（1日8時間運転）です。
- 使用条件（水質や使用時間など）によって交換時期は異なります。
- 次のような状態になったときは、交換してください。
  - お手入れをしても、においや水あかが取れないとき。
  - 傷みや型くずれがひどいとき。
- 加湿フィルターは多量の水分を含んでいます。取り出すときは、水がたれますので加湿水トレイまたは容器の中で作業をしてください。

お願い！

- 使用済みの加湿フィルターは、水分をよくしぼってから不燃ゴミとして捨ててください

交換用加湿フィルターについて

加湿フィルターは別売品となっております。
お買いあげの販売店でご購入ください。

品番： HLF−500F
希望小売価格:1,995円(税込)
(希望小売価格は2007年11月現在のものです。)

転倒OFFスイッチについて

本体を倒す、傾けるなどすると対震転倒OFFスイッチがはたらき、運転を停止します。

- 平らな場所に置き直し、電源ボタンを押して「切」にしてから、再度「入」にしてください。

注意
加湿トレイの水がこぼれた場合は、差込プラグをコンセントから抜いて床面や本体周囲についた水をふき取ってください。

保　管（長期間使用しないとき）

1. 差込プラグを抜く
2. お手入れをする

- 14～16ページの「お手入れのしかた」にしたがって、掃除をした後、**各部の水気をよく拭き取り、じゅうぶん乾燥させてください。**
  ※湿ったまま保管するとカビの原因になります。特に加湿フィルターを保存する場合は水をよく切り、**じゅうぶん陰干しして乾燥させてください。**

3. 湿気の少ないところに保管する

- 加湿器の入っていた箱に入れるか、ポリ袋に入れて湿気の少ないところに保管してください。

故障かな？と思ったら

警告
分解修理・改造の禁止
- 分解修理・改造はしないでください。**火災・感電・けがの原因になります。**

次の状態は故障ではありません

修理を依頼される前に、次のことをもう一度お調べください。それでも直らない場合は差込プラグを抜いてから、
お買いあげの販売店またはご相談窓口（裏表紙）へご連絡ください。

症　　状	点検するところ	処置のしかた
加湿しない	・水タンクの残量を確認願います。	・吹出口からは加湿された風が出ますが、蒸気や霧の様には目に見えません。 ・吸気フィルターを清掃してください。（☞14ページ） ・水タンクの水が減っている場合は正常に加湿しておりますので、そのままお使いください。
現在湿度表示値と他の湿度計との値が違う	・吸気フィルターにごみ等が溜まっておりませんか？ ・本製品は本体内部の湿度センサーで検知した値を表示しておりますので、他の湿度計との測定場所が異なる為、表示する値が異なる場合があります。	
臭いがする	・加湿フィルターや本体から使用開始直後に発生します。 ・加湿フィルター、吸気フィルター及び加湿水トレイの水が汚れていませんか？	・そのままご使用頂ければ臭いは少なくなります。 ・加湿フィルター、吸気フィルター、加湿水トレイ及び水タンクを清掃してからご使用ください。
運転しない	・差込プラグがはずれていませんか？	・差込プラグをコンセントに差してください。 ・水タンクに水道水（常温）を入れて給水してください。
水タンクから水がもれる	・キャップがしっかりしまっていますか？	・キャップをしっかり締めてください。（☞10ページ）
本体からパチッと異音がする	・吸気口、吹出口を塞いでいませんか？ ・吸気フィルターにごみが溜まっていませんか？	・本体の異常温度上昇防止用の保護装置の動作音です。 塞いでいるものを取り除いてください。
送風が強くなったり、弱くなったり、止まったりする。（運転音が大きくなったり小さくなったりする）	――――――	本体内部の湿度センサーにより、各運転モードにあわせて自動でお部屋の湿度をコントロールしている為です。（☞11ページ）
給水しても「給水」ランプが消えない。	・水タンク／加湿水トレイが正しくセットされていますか？ ・フロートに水垢やごみ等の異物がつまっていませんか？ ・フロートがはずれていませんか？	・水タンク／加湿水トレイを正しくセットしてください。（☞10ページ） ・汚れを取り除いてください。 ・フロートを正しくセットしてください。
「ポコポコ」と音がする	水タンクから給水する音です。	故障ではありませんのでそのままお使いください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店かご相談窓口
（☞20ページ）にお問合わせください。

❶保証書 （裏表紙についています。）		保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。 **保証期間はお買い上げの日から１年です。**
❷修理を依頼されるときは 持込修理	保証期間中	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
	保証期間経過後	修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
❸補修用性能部品の保有期間		ハイブリッド式加湿器の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
❹ご転居されるときは		ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
❺修理料金のしくみ		修理料金＝技術料＋部品代です。 技術料：診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。 部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

仕　様

特定地域（高地、極寒地など）では、所定の性能が確保できないことがあります

形名			HLF-500			
使用水			水道水（飲用）			
製品能力	加湿量切替		強連続	（省エネ時）	おやすみ	（省エネ時）
	加湿量（室温20℃、湿度30%）	50Hz	500	240	300	160
		60Hz	485	230	280	130
	連続加湿時間	50Hz	約7.6時間	約16時間	約12.5時間	約24時間
		60Hz	約7.8時間	約16.時間	約13.5時間	約29時間
	適用床面積（めやす）	洋室（プレハブ）	14畳（23m²）			
		和室（木造）	8.5畳（14m²）			
	タンク容量		約3.8L			
電気特性	電源		単相100V　50／60Hz			
	定格消費電力（W）		320	26	320(ON/OFF)	12.5
			320	23	320(ON/OFF)	10.5
	電源コード		1.5m			
	外形寸法（幅・奥行・高さ）		390mm×170mm×390mm			
質量			4.2kg			
別売品			加湿フィルター　HLF-500F　1,995円（税込）			

※適用面積（めやす）は、日本電機工業会規格（JEM 1426）に基づき、プレハブ住宅洋室の場合を最大適用面積とし木造和室の場合を最小適用面積としたものです。
ただし、壁・床の材質・部屋の構造・使用暖房器具等によって適用面積は異なりますので、販売店にご相談ください。

ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL　0120−3121−68
FAX　0120−3121−87
（受付時間）365日／9:00〜19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL　0120−8802−28
FAX　03−3260−9739
（受付時間）9:00〜17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

愛情点検

●長年ご使用のハイブリッド式加湿器の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか

●電源を入れても、ときどき運転しないときがある。
●電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
●差込プラグ、電源コード、コントローラーなどが異常に熱い。
●焦げ臭いにおいがする。
●その他の異常や故障がある。

お願い

故障や事故防止のため、コンセントから差込プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

MEMO

MEMO